

# タンネウシ



# 4月号

タンネウシはアイヌ語で「長い・木の・群生しているところ」。博物館付近の地名です

## おうちで楽しむブラ合地・第1弾！ 「知床の石・いろいろ」

合地学芸員の地質観察会を、配信によりおうちでお楽しみいただけます！知床半島各地の地形ができてきたプロセスを動画で説明する内容です。第1弾として、1.野外での露頭観察、2.手にとつての観察、3.顕微鏡での観察、4.そのでき方について、写真や図を用いて解説します。▶配信日：5月末まで▶配信方法：視聴希望者にYoutubeの期間限定URLをメールでお送りします。▶申込方法：件名を「配信希望」とし、お名前、電話番号を明記の上、博物館にメール(shiretoko-m@sea.plala.or.jp)を送信してください。

## 収蔵資料展示

### 「アンティークな手回し式ミシン」

足踏み式が主流になる前の、昭和初期に製造された手回しミシンを展示します。丸みのあるボディ、ロゴのデザイン、模様など細部にこだわりがあり、アンティークな雰囲気を感じさせています。▶会期：3月19日(土)～5月22日(日)▶場所：本館受付前※この展示の観覧は無料です。



## 北方民族博物館移動展「トナカイと暮らす—タイガの遊牧民たち」

ユーラシア大陸北部で先住民の生業として営まれてきたトナカイ遊牧は、自然環境や携わる民族集団によって地域ごとに多様な展開をみせてきました。この展示では、シベリア東部から南部にかけてのタイガ地域に広がるトナカイ遊牧文化について紹介します。

▶会期：4月27日(水)～6月19日(日)まで▶主催：北海道立北方民族博物館・知床博物館▶場所 交流記念館ホール※ロビー展のみの観覧は無料です。



## ロビー展 幻氷写真展

### 「蜃気楼ハンター星弘之の世界」

40年来「蜃気楼ハンター」として蜃気楼の研究や撮影を続けているアマチュア写真家・星弘之さんによる幻氷の写真展を開催します。斜里町を中心としたオホーツクエリアでは、流水が漂いながら少しずつ消えてゆく春先、めずらしい流水の上位蜃気楼「幻氷(げんぴょう)」が現れます。幻氷の魅力に取りつかれ、ほぼ毎春、星さんが斜里町に長期滞在して捉えた決定的

瞬間を展示します。会場では迫力ある動きの幻氷動画や、地元で活動している知床蜃気楼・幻氷研究会が撮影した写真もご紹介します。ぜひこの機会にお立ち寄りください。▶会期：～4月6日(水)まで▶場所：交流記念館ホール ※ロビー展のみの観覧は無料です。



## 学芸員のイチオシ



**0.7mmのシャーペン** 以前はシャーペンといえば0.5mmでしたが、今ではさまざまな太さの芯が使えるシャーペンがあります。筆圧の強い私には0.5mmは細すぎ、0.9mmでは字が太くなりすぎ・・・ということで0.7mmを愛用しています。(村上)

**休館日** 4月の休館日は4、11、18、25(月)です。29(金・祝)は開館します。